

塩川

Masakazu Shiokawa

PIANO RECITAL

~ ALL RAVEL PROGRAM ~

正和

ピアノリサイタル
オール・ラヴェル・プログラム

Aiko Ogata
緒方 愛子 ヴァイオリン

Tetsuo Harada
原田 哲男 チェロ

Guest player
ゲスト奏者

2019

日時

2/14 Thu

18:30 開場 (19:00 開演)

会場

あいれふホール

〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号

料金

一般 3,000円 (当日 3,500円)

学生 1,500円 (当日 2,000円)

※学生区分は大学院生を含みます。

※未就学児童は保護者同伴に限り無料です。

また親子室へのご案内とさせていただきます。(席数限定・要問合せ)

Program

ソナチネ Sonatine

水の戯れ Jeux d'eau

クーランの墓 Le Tombeau de Couperin

夜のガスパール Gaspard de la nuit

ピアノ三重奏曲

Trio pour piano et violon, violoncelle

(Vn. 緒方愛子、Vc. 原田哲男) 他

Maurice Ravel
ジョゼフ＝モーリス・ラヴェル

チケットのお取り扱い



チケットぴあ

【Pコード】130131

【塩川正和Webページ】

<http://masakazu-shiokawa.com/contact/>

【主催】塩川正和ピアノリサイタル実行委員会

【後援】一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

【お問い合わせ】Tel: 070-4026-4338(代)

Mail: concert@masakazu-shiokawa.com



塩川 正和 Masakazu Shiokawa

PIANO RECITAL

~ ALL RAVEL PROGRAM ~

ピアノリサイタル オール・ラヴェル・プログラム

20世紀初頭のフランス音楽を代表する作曲家、モーリス・ラヴェル。
 その緻密な作曲技法から『スイスの時計職人』、『管弦楽の魔術師』と呼ばれ、
 代表作品「ボレロ」などは今日でも世界的に親しまれています。
 作品数こそ少ないものの名曲揃いである彼のピアノ作品から、今回は特に重要度の高い作品を選び抜きました。
 古典的な絶対音楽から絵画的なインスピレーション、民族的なリズムや東洋の独特の雰囲気まで
 自在に彩るラヴェル独特の世界観をお楽しみください。

塩川 正和 Masakazu Shiokawa (ピアノ)

福岡県筑紫野市出身。3歳よりピアノを、8歳よりヴァイオリンをはじめ。これまでにピアノを黄海千恵子、高雄有希、故宝木多加志、ブルーノ・リグット、イヴ・アンリ各氏に、室内楽をクロード・ルロン氏に師事。また、ピオトル・パレチニ、横山幸雄、バスカル・ロジェ各氏のマスタークラスを受講。福岡第一高等学校音楽科卒業。在学中に福岡県高等学校音楽文化連盟コンクールにてグランプリ、ショパンコンクール in Asia 協奏曲C部門九州大会金賞、北九州芸術祭クラシックコンクール一般の部において最年少17歳で大賞及び県知事賞を受賞するなど、コンクールにて研鑽を積む。また、2007年ポルドーにて開かれたユーロ・ニッポンミュージックフェスティバルに招待演奏者として参加し、ソロ曲及びシュピーゲル弦楽四重奏団とシューマン作曲のピアノ五重奏曲を演奏し好評を博す。フランスのバリ・エコールノルマル音楽院にフジ・サンケイカラシップの奨学金を受け授業料全額免除で入学。ブルーノ・リグット氏の下で5年に渡りピアノ演奏法を学ぶ中、20歳にて同校の高等教育課程ディプロムを、翌年には高等演奏課程ディプロムを取得。学業に専念する傍ら、パリ市内の教会でのソロリサイタルやサン＝ルイ島のテアトルにて日本歌曲を中心としたテノールとピアノのデュオリサイタルを開催する。エクソンプロバンス・ピアノコンクールにて3位受賞。2014年より九州を拠点として、フランス印象派の作品を中心としたリサイタルやアルペニス作曲の組曲「イベリア」の全曲演奏を行うなどのソロ活動のほか、2台ピアノでのリサイタル、管弦楽器との室内楽、ギターとのアンサンブルなど多岐に渡る室内楽のコンサートを開催する。フルートやサクソフォーンなどの木管楽器をはじめ、弦楽器、声楽、金管楽器や打楽器などのあらゆる楽器とのデュオや伴奏活動も積極的に行い、各地のオーケストラ奏者や多くのコンクール優勝者のピアノ伴奏を務める。2008年には北九州芸術祭にてピアノ伴奏賞を受賞。現在はフリーランスのピアニストとしてコンサートホールでの演奏だけでなく、サロンでの小規模な演奏やジャズスタイルでの演奏、ピアノの講演依頼受託や後進の指導の他、教育機関へのアウトリーチや企業への訪問演奏、各種演奏会等イベントの企画など、様々な活動を続けている。(Webページ: <http://masakazu-shiokawa.com>)

ゲスト奏者

Guest player



緒方 愛子 Aiko Ogata (ヴァイオリン)

熊本県菊池市出身。5歳よりヴァイオリンを始める。福岡教育大学生涯スポーツ芸術課程芸術コース(音楽領域)卒業。同大学大学院修了。第31回全九州高等学校音楽コンクール金賞受賞。熊本県高等学校文化連盟優秀芸術文化賞受賞。アンサンブル・ベルリン公開マスタークラスを受講。第50回熊本県新人演奏会出演。第50回北九州芸術祭クラシックコンサート弦楽器部門部門優秀賞受賞。日本演奏連盟主催「新進演奏家育成プロジェクト・オーケストラシリーズ」のオーディションに合格し九州交響楽団とショーン作曲「詩曲」を共演。2014年なかまフィルハーモニー管弦楽団とメンデルズゾーン作曲ヴァイオリン協奏曲を共演。イギリス湖水地方のLake District Summer Music、フランスのムジークアルプ夏期国際音楽アカデミー、アトリオン国際室内楽アカデミーなどに参加し、ソロや室内楽について研鑽を積む。これまでにヴァイオリンを東眞知子、山崎貴子、原田大志、近藤薫、後藤龍伸の各氏に、室内楽を大山平一郎に師事。現在、広島交響楽団ヴァイオリン奏者。また、九州でも宗像ユリックスや熊本県立劇場のアーティストとしてのアウトリーチ活動等、各地で演奏活動を行う傍ら、後進の指導にも力を入れている。



原田 哲男 Tetsuo Harada (チェロ)

鹿児島県出身。桐朋学園大学在学中の1990年に藝科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部に進学。1997年からは米国ダラス市の南メソチスト大学より奨励金を得て、同大アーティストディプロマコースに入学、同年夏「チェロアンサンブルサイトウ」のメンバーとして日本、ヘルシンキ及びサンクトペテルブルグの世界チェロコンGRESSに出演した。1999年から2012年まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務め、その間爪道夫氏のチェロ協奏曲(仙台フィル委嘱作品)を初演のほか、定期公演等にソリストとしても出演した。そのほか仙台市民交響楽団、仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団といった地元のオーケストラとの共演、プラハ放送交響楽団宮城公演のソリストとして起用された。2001年第4回ビバホールチェロコンクール3位。仙台フィルメンバーによるセレーノ弦楽四重奏団でも活躍。「松尾音楽助成賞」受賞、また原村室内楽セミナーにおいて「緑の風音楽賞」受賞。2006、2007、2014年には秋吉台室内楽セミナーに講師として招かれた。森川諱一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎しのぶの各氏に師事。2007年9月より文化庁海外派遣研修員として1年間ドイツに留学し、クリスティアン・ギガ―氏(ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソロチェリスト)に師事。2013年から2016年まで九州交響楽団首席チェロ奏者を務め、ソリストとして九州交響楽団、また福岡や鹿児島など地元のオーケストラと共演。2016、2018年夏霧島国際音楽祭に出演。現在福岡市を拠点にフリーのチェロ奏者として、ソロ、室内楽、後進の指導など、幅広く活動を展開している。

あいれふホール

福岡市健康づくりサポートセンター 10F

〒810-0073

福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号



- 車で ●福岡都市高速「天神北」出口から、那の津通りを西へ、検察庁交差点を左折し約100m。
 ●九州自動車道「福岡IC」、福岡都市高速「天神北」出口から、那の津通りを西へ、検察庁交差点を左折し約100m。
 ●九州自動車道「太宰府IC」、福岡都市高速「天神北」出口から、那の津通りを西へ、検察庁交差点を左折し約100m。
 ●西方面からお越しの際は、昭和通りを東へ、あいれふ東口交差点を左折し、約150m。
 または、那の津通りを東へ、検察庁交差点を右折し約100m。
- バスで ●西鉄バス「長浜2丁目」バス停より徒歩約1分(那の津通り)
 ●西鉄バス「法務局前」バス停より徒歩約3分(昭和通り) ●西鉄バス「赤坂門」バス停より徒歩約4分(明治通り)
- 地下鉄で ●地下鉄「赤坂」駅で下車し、3番出口より徒歩約4分